

仙北市立角館中学校いじめ防止等のための基本方針

平成26年3月20日
仙北市立角館中学校

- ◎角館中学校全職員が、生徒一人一人に対して、「自分たちの生徒である」という自覚のもと、様々な事案に対し共通理解し、共通認識を持つことで、生徒が安心して生活し、共に学び合うことのできる環境を学校全体で作り上げることを目指す。

1 いじめの防止【未然防止のための取り組み】

- ①居場所、絆作り ※自己有用感が実感できるような環境作りに努める。
- 集団（角館中学校）の一員であることが実感できる場の設定
 - ・校歌合唱
 - ・応援練習、応援
 - ・学校祭における一人一役
 - ・合唱コンクール
 - 生徒同士が主体的・自発的に行ういじめ防止の活動への支援
 - ・生徒会による「角中いじめ防止プロジェクト」
 - 【活動の趣旨】
 - 1) 生徒による企画・提案・運営を通して、自己決定の場を創出する。
 - 2) 異学年間の交流を通して、共感的な人間関係を構築する場を設定する。
 - 3) 命を大切にすると心と思いやりの心を育む
 - 【活動内容】
 - 1) 角館地区小中連携あいさつ運動
 - 2) 老人ホームへの慰問ボランティア
 - 3) 地域の行事（角館のお祭り）への積極的な参加と協力
 - 4) すずかけ祭（学校祭）へのお年寄り招待
 - 人間関係（コミュニケーション）作りへの支援
 - ・積極的な声かけをすることで、相談しやすい人間関係作りに努める。
 - ・生徒と必ず一度は会話できるようにする。（朝、休み時間、給食、清掃、部活動など）
 - ・朝、玄関で生徒の登校時の様子（特に表情）と出欠を確認し、小さな変化を見逃さないようにし、全体で共有する。
 - 保護者との良好な人間関係の構築
 - ・普段から親身になって生徒一人一人のよいところ、学校でがんばっている様子を直接話すとともに、学年・学級通信等でこまめに伝える。
 - 当たり前のことを当たり前にできる生徒の育成
 - ・「早寝、早起き、朝ご飯」をスローガンとし、生活規律の確立を目指し、より安定した気持ちで学校生活を送ることができるよう支援する。

②わかる授業作り

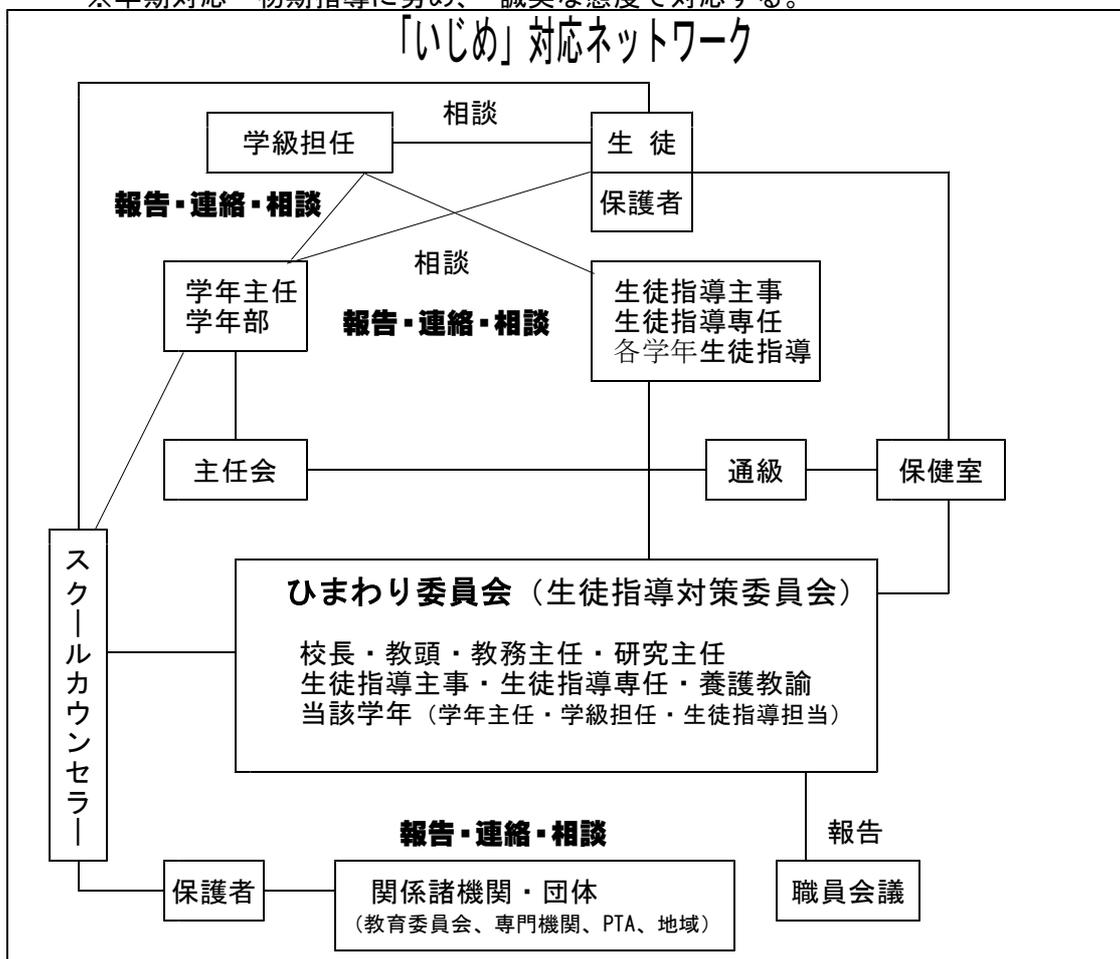
 - 学習課題の明示
 - ・生徒がいつでも確認できるよう配慮する。
 - 学び合いの場の設定
 - ・生徒同士が分からない所を互いに教え合う場を設定する。
 - ・分からない生徒が「分からない」と言えるような、お互いを認め合う集団づくりを行う。

2 「早期発見」【兆候を見逃さない、見過ごさないための手段】

- ①アンケートの実施（月1回）
- いじめのアンケート、携帯端末に関するアンケートを実施し、気になる点があった場合はすぐに対応する。
- ②Q Uテストの実施（年2回）
- 交友関係の変化、学校生活に対する満足度の変化を捉えることで、生徒一人一人への声かけの材料とする。
- ③年度初めの希望面談、教育相談の実施
- 新年度のストレス解消を図る。
- ④生徒指導部会、主任会、職員会議での定期的な情報交換
- 週単位、月単位で情報交換することで、全職員が生徒一人一人の様子を共通認識し、一貫性のある指導をする。

3 いじめに対する対応【発見したいじめに対する対処】

- ①迅速かつ綿密な組織対応および関係諸機関との連携
 ○情報をつかんだときは、図のような流れで対応する。
 ※早期対応・初期指導に努め、誠実な態度で対応する。



- ②事後の活動
 ○情報収集、解決に向けての話し合い、関係機関との連携など一連の動きを検証し、振り返る。
 ○生徒一人一人に対する心のケアをしっかりと行う。
 ○再発防止に向け、「いじめ」に対する共通理解・共通認識に一層努める。

☆いじめ防止の年間計画

4月	携帯端末調査①、希望面談 [全校]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例生徒指導部会 (週1) ・ スクールカウンセラー および通級担当との連携 (年間を通して) ・ 生徒を語る会 (4月) ・ ケータイ教室 (5月) ・ 地域行事 (角館のお祭り) 関係者との打ち合わせ (9月)
5月	QUテスト (1回目) [全校] いじめのアンケート [全校]	
6月	人間関係作りのアサーション [1年生]	
7, 8月	家庭訪問 [1, 2年生] 三者面談 [3年生] 夏季休業中 携帯端末調査②	
9月	「角館のお祭り」に向けての集会 (トラブル防止) [全校]	
10月	QUテスト (2回目) [全校]	
11月	教育相談 [1, 2年生] 三者面談 [3年生]	
12月	携帯端末調査②	
1, 2月	教育相談 [1, 2年生]	
3月	1年間の振り返りと次年度への提言 (生徒指導部)	